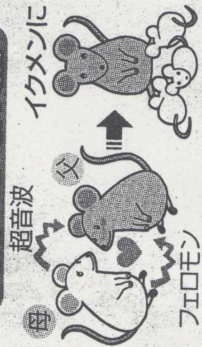


父マウスの子育て実験

母マウスと一緒にいる場合



母マウスと隔離した場合



母マウスのフェロモンで、父マウス改心?

ではなく、母マウスからの音声などによるコミュニケーションで子育てするようになったという。金沢大の東田陽博特任教授(神経化学)は「単純に人には当てはめられないが、

子育てをしない父マウスを母マウスと同じかごに入れると、母マウスからの働き掛けを受けて、子育てに励む「イクメン」になったとする実験結果を、金沢大のチームが8日付の英科学誌ネイチャーコミュニケーションズ電子版に発表した。父マウスは、子から

夫婦一緒なら “イクメン”に

金沢大が実験

た場合に分けた。子を戻すと、隔離された父マウスは子育てをしなかったが、夫婦一緒だった父マウスは子をくわえて運んだり腹に抱えたり子育ての行動をとった。子育てをしていた父マウスでも、隔離された環境に5分間置かれると、もう子育てしなくなった。夫婦一緒の場合、母マウスはフェロモンのおいよ超音波の音声によって、父マウスに子育ての必要性を伝えているとみている。

隔離時と比較

妻からのコミュニケーションが必要なことは、父親の子育て研究に役立つかもしれない」としている。チームは、通常は子育てしない実験室の父マウスに注目。生まれてまもない子から、父マウスだけ隔離した場合、父マウスと母マウスを一緒に引き離し